

## 5種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ）予防接種について

この予防接種は、予防接種法に基づき、乳児期にジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎及びインフルエンザ菌b型（ヒブ感染症）の免疫を得るために実施するものです。

必ず、本紙をよく読んでから、委託医療機関で接種を受けてください。

### 接種時の持ち物

☆母子健康手帳 ☆予防接種予診票兼受診票 ・健康保険証 ・子育て支援医療費受給者証

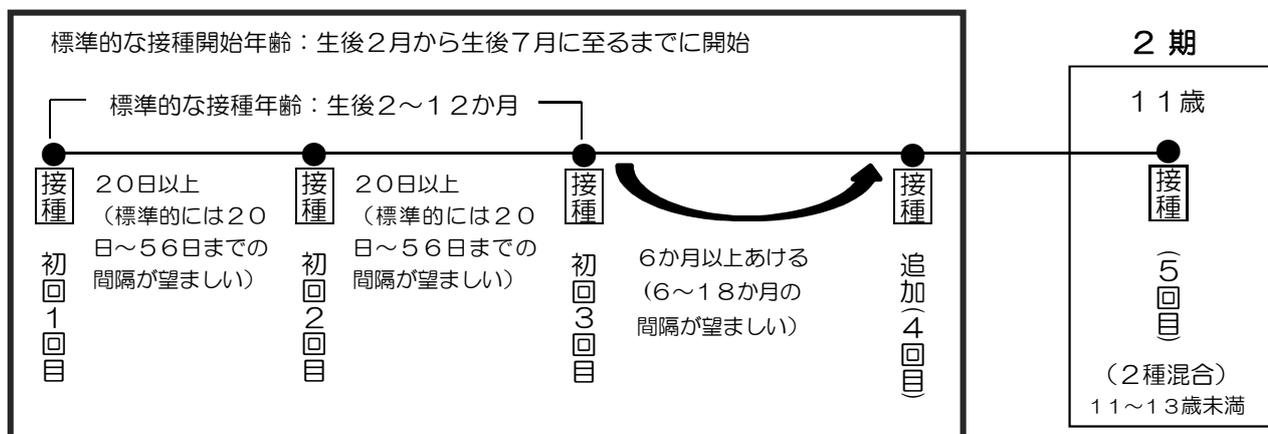
### 対象者

生後2か月～7歳6か月に至るまでの間にある者

### 接種回数と間隔

標準的な接種開始時期：生後2～7か月の前日までにスタート

1期（生後2か月～7歳6か月に至るまで）



### 病気の概要

- ①百日せき：百日せき菌が咳などで飛沫したときに感染します。乳幼児にかかりやすく、特に夜間に激しい咳の発作が起こることがあります。咳がひどくなると、呼吸ができずにチアノーゼやけいれんをおこすことがあります。また、脳症を起こして重い後遺症を残したり、乳児では死に至ることもあります。
- ②ジフテリア：ジフテリア菌が咳などで空気中に飛沫したとき、のどや鼻から感染します。症状は高熱、のどの痛み、犬が吠えるような咳、おう吐などです。おう吐物などで窒息死することや、菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺をおこして死亡することのある恐ろしい病気です。
- ③破傷風：破傷風菌は、土の中に潜んでいます。患者の半数は、自分では気がつかない程度の軽い傷口が感染の原因です。傷口から菌が入り体の中で増えると、菌の出す毒素のために、唇や手足のしびれが初期に起こり、その後、口が開きにくくなったり、けいれんをおこし、死亡することもあります。日本中どこの土の中にも破傷風菌はいます。
- ④ポリオ：ポリオウイルスはヒトからヒトへ感染します。感染したヒトから排出されたウイルスが口から入り、腸で増殖します。多くの場合、症状はありませんが、手足に麻痺があらわれることがあります。麻痺は後に残ることが多く、呼吸筋が麻痺すると死亡するおそれもあります。

⑤ヒブ感染症：乳幼児の細菌性髄膜炎を起こす原因の半分以上を占めているのが「インフルエンザ菌b型」という細菌で、略して「ヒブ（Hib）」と呼ばれています。ヒブは冬に流行するインフルエンザウイルスとは全く別のものであり、細菌性髄膜炎のほかに肺炎・咽頭蓋炎・肺血症などの重篤な全身感染症を引き起こします。

ヒブによる細菌性髄膜炎にかかると、1か月程度の入院・治療が必要となりますが、治療を受けても約5%の乳幼児が死亡し、約25%に聴力障害・神経障害などの後遺症を残します。5歳未満の乳幼児がかかりやすく、特に生後3か月から2歳になるまではかかりやすいので注意が必要です。

## 副 反 応

予防接種は、重篤な病気の発生や流行の阻止に大きな成果をあげていますが、ごくまれに副反応をおこすことがあります。接種部位の発赤・しこり・腫脹、発熱・発疹などがみられます。反応は自然に治まりますが1か月以上残ることもあります。まれに生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（呼吸困難・血管浮腫など）、急性血小板減少性紫斑病などがあります。

定期の予防接種の副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

## 注 意 点

- (1) 予防接種は健康な人が元気な時に接種を受け、その病原体の感染を予防するものです。体調の良い時に受けることが原則です。お子さんの体調をよく理解した保護者がお連れください。
- (2) 予防接種を受けることができない人
  - ① 明らかに発熱（通常37.5度以上）している人
  - ② 重い急性疾患にかかっている人
  - ③ 予防接種等によりひどいアレルギー反応を起こしたことがある人
  - ④ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた人
- (3) 予防接種を受けるに際し、主治医とよく相談しなくてはならない人
  - ① 心臓病血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある人
  - ② 過去に予防接種で、接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた人
  - ③ 過去にひきつけ（けいれん）をおこしたことがある人
  - ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある人、もしくは近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
  - ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーをおこすおそれのある人
- (4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項
  - ① 接種後30分間は、急な副反応が起こることがまれにありますので、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
  - ② 副反応の多くは1週間以内に出現しますので、この間は体調に十分注意してください。
  - ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすことはやめましょう。
  - ④ 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい活動は避けましょう。

<問い合わせ先>子育て支援課 0774-64-1377(直通)